

函館市交通事業経営計画(第2次)進行管理シート

【平成24年度計画における局内評価結果および経営懇話会意見等】

平成25年10月

函館市企業局

1 財政収支試算等の計画・実績

(1) 財政収支試算

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
事業規模	1日走行キロ(km)	2,735	2,750	2,735	2,755	2,735	2,740	5	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735	2,735	
	1日乗客数(人)	16,298	15,988	16,129	15,578	15,981	15,156	-825	15,853	15,743	15,651	15,574	15,510	15,461	
	前年増減比(%)	-1.16		-1.04	-2.56	-0.92	-2.71	-	-0.80	-0.69	-0.58	-0.49	-0.41	-0.32	-0.23
	車両数(両)	32	32	32	32	32	32	0	32	32	32	32	32	32	32
	職員数(人)	109	109	107	114	104	105	1	104	108	106	106	106	105	105
	正職員数	69	69	69	69	66	67	1	66	66	66	66	66	66	66
	嘱託職員等	40	40	38	45	38	38	0	38	42	40	40	40	39	39
経常収支	営業収益	1,012	1,023	1,002	991	987	1,005	18	977	968	963	954	948	943	942
	うち料金収入	953	965	942	939	927	944	17	917	907	901	892	886	880	878
	営業外収益	293	280	288	286	295	302	7	300	321	314	313	302	316	301
	うち一般会計補助金	203	197	198	201	204	215	11	209	230	223	222	212	226	211
	経常収益計	1,306	1,303	1,290	1,277	1,282	1,306	24	1,277	1,289	1,276	1,266	1,250	1,259	1,243
	営業費用	1,230	1,202	1,231	1,228	1,171	1,145	-26	1,168	1,276	1,219	1,204	1,212	1,233	1,182
	人件費	611	592	626	610	558	538	-20	567	670	630	584	622	635	606
	うち職員給与費	486	480	490	478	472	440	-32	481	489	487	493	505	511	517
	うち退職金	37	25	50	49	0	0	0	0	87	52	0	26	36	0
	経費	453	433	448	449	449	435	-14	442	433	427	420	402	393	387
	動力・燃料費	50	47	50	48	50	50	0	50	50	50	50	50	50	50
	修繕費	252	236	249	239	255	236	-19	251	246	244	240	225	220	217
	その他	151	150	148	162	144	149	5	140	137	133	130	127	124	121
	減価償却費	166	177	159	169	165	172	7	160	173	163	200	188	204	188
	営業外費用	75	61	70	53	65	51	-14	61	57	59	59	60	60	59
うち支払利息	31	32	28	27	25	23	-2	23	21	26	28	28	28	28	
予備費															
経常費用計	1,305	1,263	1,302	1,281	1,237	1,196	-41	1,229	1,333	1,278	1,263	1,271	1,292	1,241	
差引	1	40	-12	-4	45	111	66	48	-44	-2	3	-21	-33	2	
特別損益	特別利益	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	118	110
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	差引	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	118	110
純損益	118	158	106	81	163	204	41	166	74	116	121	97	85	111	
資本的収支	資本的収入	163	153	279	266	317	351	34	344	414	291	188	209	162	142
	うち企業債	85	75	146	133	160	150	-10	136	350	218	149	95	108	90
	うち市・国補助金	78	78	133	132	157	168	11	209	64	73	39	114	54	53
	資本的支出	298	296	396	389	399	440	41	424	480	367	306	335	256	258
	うち建設改良	120	118	216	209	230	271	41	265	350	253	184	224	143	141
	うち企業債償還元金	178	178	180	180	169	169	0	159	130	114	122	111	113	117
差引	-135	-143	-117	-123	-82	-89	-7	-80	-66	-76	-117	-126	-94	-116	
補填財源	284	334	265	248	328	375	47	325	247	279	321	285	289	300	
単年度資金過不足額	149	190	148	125	246	285	39	246	181	203	204	159	195	184	
累積資金過不足額	-1,023	-980	-875	-855	-629	-569	60	-383	-202	1	205	364	560	743	
軌道事業分	31	72	61	112	189	305	116	317	380	465	551	592	669	743	
自動車運送事業分	-1,054	-1,052	-936	-967	-818	-874	-56	-700	-582	-464	-346	-228	-110	0	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(2) 建設改良計画

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
改良施設	軌道改良	200m	200m	400m	400m	400m	434.5m	+34.5m	100m		200m	200m		300m	200m
	分岐器改良	1か所	1か所												
	安全地帯上屋設置	1か所	1か所			1か所		-1か所							
	駒場変電所改良								実施設計	機器製作	取付等				
	超低床電車購入								1両				1両		
	電車車体改良			1両	1両	1両	1両					1両			
	電車車体大規模改修										2両	1両		1両	1両
建設改良費 計	120	118	216	209	230	271	41	265	350	253	184	224	143	141	
財源内訳	企業債	85	75	146	133	160	150	-10	136	350	218	149	112	91	90
	国補助金	18	18	35	40	35	46	11	65	0	18	18	56	26	26
	市補助金	18	18	35	30	35	35	0	65	0	18	18	56	26	26
	工事負担金						33	33							
	自己資金		7		6		7	7							
	計	120	118	216	209	230	271	41	265	350	253	184	224	143	141

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(3) 一般会計補助金総括表

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
施設改善関係	222	231	256	265	288	303	15	316	258	244	244	270	254	237
減価償却費	131	140	130	138	141	145	4	140	173	163	186	174	198	183
企業債償還元利金	74	73	91	89	112	110	-2	102	85	64	32	30	30	29
LRT関連補助	18	18	35	30	35	35	0	65		18	18	56	26	26
基礎年金拠出金				3		13	13	9			9	9		
その他				5										
施設維持保守関係	34	25	34	27	34	33	-1	34	34	34				
施設等保守費	34	25	34	27	34	33	-1	34	34	34				
累積資金不足額処理関係	125	120	124	86	123	94	-29	122	120	119	118	118	118	110
累積資金不足額解消	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	118	110
一時借入金利息	7	2	6	1	5	1	-4	4	2	1				
合計	381	376	414	378	445	430	-15	471	413	397	362	388	372	347

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

(4) 累積資金不足額の処理計画

(単位:百万円, 税込)

区分	22年度		23年度		24年度			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	比較	計画	計画	計画	計画	計画	計画	
前年度末累積資金不足額	1,172	1,170	1,054	1,052	936	967	31	818	700	582	464	346	228	110
処理額	資金不足解消額	118	118	118	85	118	93	-25	118	118	118	118	118	110
	支払利息	7	2	6	1	5	1	-4	4	2	1			
	計	125	120	124	86	123	94	-29	122	120	119	118	118	110
資金不足残額	1,054	1,052	936	967	818	874	56	700	582	464	346	228	110	

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しない。

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ア) 均一料金制度についての検討の継続					
対策内容	利用しやすい料金としての均一料金制度導入の可能性について、検討を深める。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	<ul style="list-style-type: none"> ○乗客動向調査の実施 ○均一料金の試行等による基礎的なデータ収集 		<ul style="list-style-type: none"> ○収入への影響等の検討、庁内協議および方向付けの整理 		<ul style="list-style-type: none"> ○函館バスや一般会計との協議 ○制度実施の是非の決定 <p>《実施の方向性の場合》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との協議 ○予算措置等 	
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○担当者間の協議を4回開催し、熊本市での実施状況を調査した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実績・成果なし 	<ul style="list-style-type: none"> ○局内の関係課で協議を行った。 			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	均一料金制度について関係課で協議を行い、制度導入による効果の検証のためには、平成24年度から導入された市の新たな交通料金助成制度による料金収入への影響や、今後の消費税率改定による影響度の把握が必要となるため、当面はこれらの動向・状況把握を行っていくこととした。
今後の方向性	交通料金助成制度や消費税率改定などが落ち着く平成28年度以降を目途に、ICカードシステムの導入検討状況や新幹線開業効果などの新たな外的要因等も踏まえて検討を続けていく。
経営懇話会意見等	早期結論に至れるよう、検討を続けていくことが望ましい。

2 収入に係る対策

(1) 料金制度について

対策項目	(ウ) ICカード等新媒体の調査・研究					
対策内容	ICカード, モバイル等新媒体の調査・研究を行う。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○ICカード等の導入事例および実態についての調査・研究			○局内協議および導入可否の整理	《実施の方向性の場合》 H26～27 ○導入に向けた基本調査, 関係機関との協議 H28～ ○仕様作成, 積算, 予算措置, 導入実施	
実績・成果	○実績・成果なし	○実績・成果なし	○導入費用などについて調査した。			

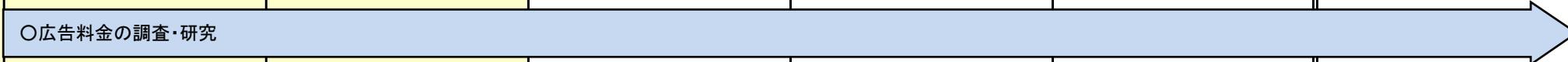
平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	函館バスとの共同使用や商店街とのタイアップなど, ICカード等の導入効果や問題点などの調査を行った。
今後の方向性	導入費用が非常に高額であるため, 市や他の公共交通機関と協議しながら導入可否を検討する。
経営懇話会意見等	費用対効果などを含め, 検討していくのが望ましい。

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(ウ) 広告料金の改定についての検討					
対策内容	広告料金の単価等の改定について検討する。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○広告料金の調査・研究 					
	○他の軌道事業者の広告料金を調査する					
実績・成果	○公営他事業者、4者の調査を実施した。	○実績・成果なし	○局内の関係課で協議を行った。			

平成 24 年度

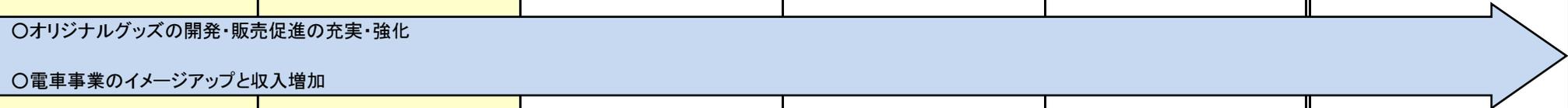
評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	計画策定当初はカラー電車などが人気であり、広告料金の値上げをイメージし対策項目としたが、昨今の経済状況から広告料金の値上げについては非常に厳しい状況であるため、広告料金の改定については当面休止する。
今後の方向性	今後、新幹線の開業などにより、観光客の入り込みや市内経済状況の好転が予想されるため、時期をみて再開する。

経営懇話会意見等	消費税増税後の社会情勢なども考慮した上で再開してはどうか。
----------	-------------------------------

2 収入に係る対策

(3) 広告料収入について

対策項目	(イ) 電車の意匠を活用した新規商品の開発・販売					
対策内容	電車の意匠を活用したオリジナルグッズの開発促進と販売を充実・強化し、電車事業のイメージアップと収入増加を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	<p>○オリジナルグッズの開発・販売促進の充実・強化</p> <p>○電車事業のイメージアップと収入増加</p> 					
実績・成果	<p>【商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カレンダー ○時計 ○箱館ハイカラ號のダイキャストカー ○箱館ハイカラ號とハローキティのコラボ商品 ○定期券レプリカキーホルダー 	<p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都の交通100周年とコラボしたDVD ○鉄道むすめのキャラクターを利用した「マナーポスター」や「ドア挟み注意ステッカー」 	<p>【新規商品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道むすめキャラクター「ミニスタンプ」と「IDカード風バッジ」のセット ○函館市電8000形プラモデル ○特製バッジとオリジナルフレーム切手セットほか 			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
----	--

評価理由	キャラクター商品など、新商品の開発促進を行った。
------	--------------------------

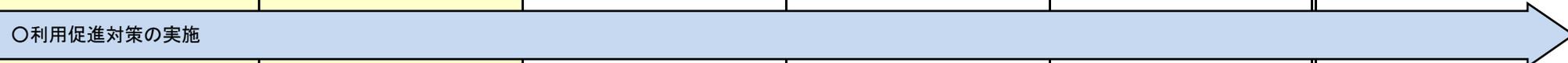
今後の方向性	新規商品の開発・販売は、これまでの実績を検証するとともに、その結果を踏まえ、今後の取り組み方針を決定する。
--------	---

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおりに販売実績の検証を行った上で、利益率の高いものを残して販促強化してはどうか。
----------	--

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ア) 全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進					
対策内容	環境面での社会に対する負荷軽減の観点から、全市的なエコ・ライフ推進を図り、旅客単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関の利用を呼びかける。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○利用促進対策の実施 					
実績・成果	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。	○路面電車の利用促進対策について、市環境部等と協議・整理を行った。 ○環境に係わる地球環境パネル展を実施した。 ○ホームページにより環境負荷が少ない路面電車をPRした。	○北海道における「地域の足」確保キャンペーンに賛同し、函館市内の電車沿線企業を訪問し、公共交通を使ったエコ通勤を呼びかける活動を実施した。 ○環境部のパネル展を電車の中で実施するとともに、ノーマイカーデー事業に賛同し、路面電車の利用を呼びかけた。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	北海道運輸局や市・環境部と協力し、市内事業所などを個別訪問して環境意識の啓発に取り組み、環境負荷が少ない路面電車の利用を呼びかけた。
今後の方向性	今後も引き続き、関係機関等と連携し、二酸化炭素排出量が少ない公共交通機関として路面電車の利用を呼びかけることとしたい。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 路面電車感謝祭等イベント開催による市民への広報活動の実施					
対策内容	路面電車の日や路面電車感謝祭等の行事を通じて、市民等の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。					
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○路面電車感謝祭等イベント開催による広報活動の実施					
実績・成果	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行	○路面電車感謝祭 ○「路面電車の日」記念事業 ○「鉄道の日」記念事業 ○200円均一運行 ○函館キッズタウンに参加			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	路面電車感謝祭をはじめとする記念事業の継続実施に努めたほか、函館キッズタウンへの参加により、子供を含めた市民への広報活動を実施した。
今後の方向性	今後も引き続きイベント開催による広報活動を行い、市民の電車に対する関心を高め、利用促進を図る。

経営懇話会意見等	今後も利用促進効果が高くなるような活動を続けていくのが望ましい。
----------	----------------------------------

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(ウ) 街頭キャンペーン等観光客対象の宣伝活動の拡充
対策内容	定期的に利用促進の街頭キャンペーンを行うほか、ゴールデンウィークや夏休み等観光シーズンを中心に函館駅前、湯の川温泉等で観光客に対する電車・観光地案内を実施する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標						
実績・成果	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を開催し、路面電車を利用した観光案内等を行った。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。	○ゴールデンウィークと夏休みに「観光見どころ案内所」を実施した。 ○路面電車の日や鉄道の日街頭PRを実施した。 ○12月に実施した深夜便(ミッドナイトラム)運行に合わせ、湯の川地区のホテルを訪問し、PR活動を行った。			

平成24年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	函館駅前や湯の川温泉で実施した観光案内において、一日乗車券を利用した観光を勧め、利用促進を図った。また、12月に実施した深夜便運行では、湯の川地区のホテルを訪問し、ポスターの掲出をお願いするとともにPR活動を行い、利用促進を図った。
今後の方向性	今後も引き続き、各種宣伝活動を実施する。

経営懇話会意見等	観光客の利用促進のための環境整備も検討してはどうか。
----------	----------------------------

2 収入に係る対策

(4) 利用促進について

対策項目	(イ) 沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大
対策内容	沿線周辺の企業や商店街等と協力し、セール、イベント等の連携など地域ぐるみでの利用拡大を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○沿線地域企業・団体等との連携協力による利用拡大					
実績・成果	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○湯の川電停のイルミネーションを実施した。(湯川商店街振興組合) ○バル街電車を運行した。	○中島れんばい横丁の広告宣伝を実施した。 ○電車deお茶会を開催した。(函館市弁天活性化実行委員会) ○黒船イベントに開催に係る増車運行を行った。(函館黒船地域活性化協議会) ○バル街電車を運行した。	○前年度までの取り組みについて継続して実施した。 ○新たに、自由市場と協力し、電車専用一日乗車券提示による割引案を取り決めた。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	電車沿線で開催される各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努めたほか、新たに自由市場と協力し、自由市場で買い物をした乗客が市電専用一日乗車券を提示することで100円のキャッシュバックを受けられるサービスを平成25年度から実施することとした。
今後の方向性	今後も引き続き、沿線地域企業・団体等が行う各種イベントの実施に協力し、利用の拡大に努める。

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ア) 事務事業の見直しによる効率的な組織の確立					
対策内容	毎年度、事務事業の点検・見直しを実施し、状況に応じた効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○効率的かつ機動性に優れた組織体制の確立					
	○前年度の実績評価と再検討					
実績・成果	○公営企業管理者を置かないこととし、並行して水道局との組織統合と管理業務の統合について検討および協議を重ねた。	○水道局との統合により、管理業務の効率化を図った。 ○安全管理体制の強化・確立を図るため、安全推進課を設置した。	○水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	水道局と統合した中で、業務の効率化が図られ、新たな安全管理体制が定着した。
今後の方向性	事務事業の見直しを図る中で、更に効率的かつ機動性に優れた組織体制を検討していく。

経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。
----------	------------------------

3 支出に係る対策

(1) 効率化の推進について

対策項目	(ウ) 事業経費等の総点検によるコスト縮減					
対策内容	事務事業に係る経費について総合的な点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。					
担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 総務課	<input type="checkbox"/> 経営企画課	<input checked="" type="checkbox"/> 経理課	<input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 事業課	<input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○業務内容の精査・事業経費の削減			○前年度の実績評価と再検討		
実績・成果	○ダイヤ改正を行ったことによる走行キロ減における消耗品や電力量の削減を図った。 【1日あたり走行キロ】 3007.970km/平日 →2711.618km/平日・夏	○企業局の設置に伴い管理部門を一本化したことで、業務の効率化を図り、共通経費の削減を行った。	○消耗品の節約や照明のこまめな減灯等により経費の削減を図っている。			

#REF!

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない
評価理由	消耗品や電力量の削減に地道に取り組んでいる。
今後の方向性	今後も引き続き、業務に係る様々な経費について、点検・見直しを行い、経費削減の徹底を図る。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。

4 一般会計からの補助

(1) 施設改善関係に対する補助について

対策項目	
対策内容	安定的な経営を図るための施設改善関係を対象に、一般会計から補助を受ける。 ①減価償却費 ②企業債償還元利金および一借利息 ③LRT関連補助 ④基礎年金拠出金ほか
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input checked="" type="checkbox"/> 経理課 <input type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	① 131 百万円	① 130 百万円	① 141 百万円	① 140 百万円	① 173 百万円	① 904 百万円
	② 81 百万円	② 97 百万円	② 117 百万円	② 106 百万円	② 87 百万円	② 186 百万円
	③ 18 百万円	③ 35 百万円	③ 35 百万円	③ 65 百万円	③ 0 百万円	③ 144 百万円
	④ 百万円	④ 百万円	④ 百万円	④ 9 百万円	④ 百万円	④ 18 百万円
	合計 230 百万円	合計 262 百万円	合計 293 百万円	合計 320 百万円	合計 260 百万円	合計 1,252 百万円 (H27～H31の5か年合計)
実績・成果	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】	【補助金】
	① 140 百万円	① 138 百万円	① 145 百万円	① - 百万円	① - 百万円	① - 百万円
	② 75 百万円	② 90 百万円	② 111 百万円	② - 百万円	② - 百万円	② - 百万円
	③ 17 百万円	③ 30 百万円	③ 35 百万円	③ - 百万円	③ - 百万円	③ - 百万円
	④ 百万円	④ 8 百万円	④ 13 百万円	④ - 百万円	④ - 百万円	④ - 百万円
	合計 232 百万円	合計 266 百万円	合計 304 百万円	合計 - 百万円	合計 - 百万円	合計 - 百万円 (H27～H31の5か年合計)

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	概ね計画どおりの補助金額となった。
今後の方向性	経費節減に努めたいうえで、一般会計へ要求していきたい。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおり進めていくのが望ましい。

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(ア) 電車優先信号設置等に係る関係機関との協議等継続
対策内容	運行の安全性と定時制を確保するため、電車優先信号設置や信号調整等について、引き続き関係機関と協議する。また、一般車両の軌道敷地内乗入規制措置等の強化を国に対し、引き続き要望する。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input checked="" type="checkbox"/> 事業課 <input checked="" type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○【電車優先信号】必要時に応じた関係機関との協議					
	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握する。 ○電車優先信号の必要性の検討 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	【電車優先信号】 ○管制に信号調整を依頼する。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出。	○【軌道敷内乗入規制措置等の検討】実現に向けた検討			
実績・成果	【電車優先信号】 ○ダイヤ改正により電車走行上支障となる箇所を把握した。 ○電車優先信号の必要性を検討した。 ○管制に信号調整を依頼した。 【軌道敷内乗入規制】 ○運行障害に係る具体案を抽出し、部内協議を行った。	○信号調整については、引き続き依頼したが、管制から実施については現実的に多くの課題があり難しいとの話があり、現状で実施困難と判断した。 ○運行障害に係る具体案を抽出。(軌道敷内の右折等)	○他事業者の状況を調査したが、併用軌道であることから現状では規制する手段が無いと判断した。			

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input checked="" type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	併用軌道であることから、法等によって乗入規制が強化されない限り、現状では実現困難と判断した。
今後の方向性	今後は軌道敷内進入注意の啓発を強化し、走行環境の改善に努めたい。

経営懇話会意見等	状況により一度休止するのはやむを得ないが、状況の変化を注視していくとともに、軌道敷進入注意喚起のための方法について適時検討を続けて欲しい。
----------	---

6 走行環境の改善

(1) 安全性および定時制を兼ね備えた走行環境の整備について

対策項目	(イ) 軌道敷内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化
対策内容	自動車運転免許試験場や自動車学校等を通じて、軌道敷内の電車優先運行啓発リーフレットを継続して配布し、周知徹底を図る。
担当課	<input type="checkbox"/> 総務課 <input type="checkbox"/> 経営企画課 <input type="checkbox"/> 経理課 <input checked="" type="checkbox"/> 安全推進課 <input type="checkbox"/> 事業課 <input type="checkbox"/> 施設課

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～31年度
実施計画・対策目標	○リーフレットの内容や配布方法などを見直し、より効果的な啓発に努める。					
実績・成果	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ●JRA駐車場にて来場者へ配付し周知を図った。 ●丸井今井駐車場にて来客者へ配付し周知を図った。 ●交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○啓発リーフレットを配付した。 【配付場所と方法】 ●タクシー協会に配付しタクシー乗務員へ周知を図った。 ●自動車学校に配付し受講者等へ定期的な周知を図った。 ●交通安全運動期間中に根崎交差点とガス会社交差点で直接ドライバーへ配付し周知を図った。	○新しい啓発用リーフレットを作成した。 ○引き続き啓発リーフレットを配付し、周知に努めた。 ○路上駐車の影響により、軌道敷内に車両が進入する箇所について、警察に指導をお願いした。	○新しい啓発リーフレットの制作		

平成 24 年度

評価	<input type="checkbox"/> A. 完了した <input checked="" type="checkbox"/> B. 計画どおり進んでいる・成果が上がっている <input type="checkbox"/> C. 計画に遅れが生じている・あまり成果が上がっていない <input type="checkbox"/> D. 計画が滞っている・全く成果が上がっていない <input type="checkbox"/> E. 外的要因等により休止・中止する
評価理由	平成24年度は、リーフレットの制作・配布により軌道敷内の電車優先運行の啓発に努めたほか、路上駐車への対応を警察に依頼した。
今後の方向性	引き続き軌道敷内の電車優先運行に関する啓発活動に努める。
経営懇話会意見等	今後の方向性のとおりに進めていくのが望ましい。